

教員の取得学位及び主な著書・論文等

- ◆職 位：講師
- ◆氏 名：坪之内 千鶴
- ◆取得学位：博士(看護学)
- ◆主な著書・論文等

著書・論文等の名称	全著者名	掲載誌名	出版年月 (西暦)	巻	号	頁	授業内容に反映 している科目名
Interprofessional education through case conferences: Enhancing collaborative skills in psychiatric discharge planning	Nakamura, Y., Ando, K., Otani, K., Furuzawa, A., Yoshikawa, M., Hatsuda, M., <u>Tsubonouchi, C.</u> , & Tachi, R.	<i>Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports</i>	2025年9月	4	4		精神看護学Ⅱ
Allyship with Psychiatric Patients for Health Care Practice Reform: A Case Study of a Narrative Approach Using Patient-Authored Medical Records	<u>Tsubonouchi, C.</u> , & Asano, M.	<i>Creative Nursing</i>	2024年9月	31	1	61-69	精神看護学Ⅰ 精神看護学実習
Patient-authored medical record II: A not-knowing approach to psychiatric nursing	<u>Tsubonouchi, C.</u> , Asano, M., & Nomura, N.	<i>Archives of Psychiatric Nursing</i>	2024年8月	51		143-151	精神看護学Ⅰ 精神看護学実習
The patient-authored medical record: A narrative path to a new tool in psychiatric nursing	<u>Tsubonouchi, C.</u> , Kinoshita, Y., & Nomura, N.	<i>Archives of Psychiatric Nursing</i>	2022年3月	39		46-53	精神看護学Ⅰ 精神看護学実習
「患者カルテ」を使ったオープンダイアローグ —精神科看護の専門性をめぐって—	坪之内千鶴	N：ナラティブとケア	2017年1月	8		51-56	精神看護学Ⅰ 精神看護学実習
ダブルバインド～ナラティブ～オープンダイアローグ —ベイトソンから「患者カルテ」まで—	野村直樹、 <u>坪之内千鶴</u>	N：ナラティブとケア	2016年1月	7		6-12	精神看護学Ⅰ 精神看護学実習

EPA インドネシア看護師候補者の日本の職場環境への適応に関する研究	長江美代子、岩瀬貴子、古澤亜矢子、坪之内千鶴、島井哲志、安藤智子	日本赤十字豊田看護大学紀要	2013年3月	8	1	97-118	
EPA に基づく外国人看護師候補者の社会文化的適応のプロセスとストレスマネジメント講習の効果に関するフォローアップ効果	長江美代子、島井哲志、岩瀬貴子、古澤亜矢子、坪之内千鶴、安藤智子、山田富美雄、石川利江	平成 23 年度「学校法人日本赤十字学園 赤十字と看護・介護に関する研究助成」研究活動報告書	2012年11月			1-38	

◆競争的資金による主な研究

研究テーマ	実施年月(期間)	外部資金名	授業内容に反映している科目名
精神障害当事者支援における支援者ネットワークの構造とプロセスの実証的研究(研究分担者)	2026年4月～2029年3月	文部科学省科学研究費 基盤研究C	精神看護学Ⅱ
精神保健医療福祉領域の多職種連携教育(研究分担者)	2024年4月～2025年3月	2024年度日本福祉大学教育改革 推進公募制度	精神看護学Ⅱ
精神科入院患者が書く「患者カルテ」の治療効果とその応用に関する研究(研究代表者)	2020年4月～2025年3月	文部科学省科学研究費 基盤研究C	精神看護学Ⅰ 精神看護学実習
精神科看護における「患者カルテ」の使用とその治療的効果に関する研究(研究代表者)	2016年4月～2019年3月	文部科学省科学研究費 挑戦的萌芽研究	精神看護学Ⅰ 精神看護学実習
EPA に基づく外国人看護師候補者の社会文化的適応のプロセスとストレスマネジメント講習の効果に関するフォローアップ効果(研究分担者)	2011年4月～2012年3月	平成 23 年度 学校法人日本赤十字学園赤十字と看護・介護に関する研究助成	